

1 . 評価結果概要表

作成日 平成20年 2月 13日

【評価実施概要】

事業所番号	0173800525		
法人名	株式会社イワクラ		
事業所名	グループホームゆーあい天馬		
所在地	新冠郡新冠町字中央町17番地の11 (電 話) 0146-47-1111		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年12月7日	評価確定日	平成20年2月13日

【情報提供票より】(1 9 年 1 1 月 1 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和 (平成) 15年10月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	23 人	常勤	14人, 非常勤 9人, 常勤換算 13.8人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋	造り
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	17,000 ~ 22,000 円
敷 金	有 (円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		

(4) 利用者の概要(1 2 月 7 日現在)

利用者人数	17 名	男性	6 名	女性	12 名
要介護1	6	要介護2	3		
要介護3	7	要介護4	2		
要介護5	0	要支援2	0		
年齢	平均 85.6 歳	最低	76 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	新冠町国民健康保険病院・医療法人静和会石井病院・新冠ファミリー歯科医院
---------	-------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は母体法人の所有地を利用し、広々とした造りで利用者がゆったりと過ごせるよう設計している。事務室が広く使いやすいよう工夫しており、利用者が来訪者とゆっくり話せるような空間としても活用している。職員は利用者の尊厳を大切に日々のケアサービスに取り組み、利用者は穏やかに生活している。また、職員間の連帯感も取れており、地域と連携を図りながらともにサービスの質の向上に取り組んでいる。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での課題であった市町村の関わりについては、職員間で話し合い、改善に取り組んでいる。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	前回評価での結果を踏まえ、日々のケアサービスに活かせるよう職員間で検討しながら自己評価に取り組んでいる。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
重点項目	定期的に運営推進会議を開催し、事業所の運営状況や利用者の状態等について報告している。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
重点項目	職員は日頃から利用者家族とのコミュニケーションを大切にしており、家族の来訪時等に声かけをし、意見・要望等を聞いているが、一部の介助中のミスで家族が納得していない点が課題としてあり、今後、家族との間で十分な話し合いの機会を持つことが求められる。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	花見・祭り等の自治会の行事に参加したり、家族交流会等の事業所の行事に近隣住民を招待するなど、地域との連携に努めている。また、散歩や買い物時に地域住民と日常的に挨拶を交わすなど、地域との交流が深まりつつある。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1.理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念をつくりあげ、事業所内の目の付きやすい場所に掲示している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	要所に理念を掲示して職員間で共有し、その実践に向けて取り組んでいる。		
2.地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	花見・祭り等の町内会行事に参加したり、事業所の行事に近隣住民を招待するなど、地域との交流を図っている。		
3.理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の結果を踏まえ、日々のケアサービスに活かせるよう取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度運営推進会議を開催し、事業所の運営状況や外部評価の結果等について報告している。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町の担当者と相談・報告等を行ったり、役場の栄養士に献立を確認してもらうなど、日頃から密に連携を取っており、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	職員は家族の来訪時に声かけし、利用者の暮らしぶり等について伝えている。また、遠方のため来訪が困難な家族には、電話で近況報告を行っている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の来訪時に職員は積極的な声かけをして話す機会を設け、利用者の様子を伝え家族の意見・要望等を聞いている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職・異動等は最小限となるよう努め、利用者へのダメージを防ぐよう配慮している。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じ て育成するための計画をたて、法人内外 の研修を受ける機会の確保や、働きなが らトレーニングしていくことを進めている	運営者は外部研修に参加する機会を設けてお り、職員は積極的に受講している。しかし、 定期的に内部研修を実施するまでには至って いない。	○	今後は内部研修を定期的の実施し、職員の スキルアップを図ることが期待される。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業 者と交流する機会を持ち、ネットワー クづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通 じて、サービスの質を向上させていく取 組みをしている	他の事業所職員と交流する機会を設けてお り、意見交換を行うなどしてサービスの質の 向上に取り組んでいる。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービス を利用するために、サービスをいきなり 開始するのではなく、職員や他の利用 者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家 族等と相談しながら工夫している	利用者・家族に事前に事業所を見学してもら い、事業所の雰囲気に馴染んでからの入居と なるよう工夫している。また、入居後もしば らくの間は面会回数を増やしてもらうなど、 利用者が安心して過ごせるよう配慮してい る。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場 におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽 を共にし、本人から学んだり、支えあう 関係を築いている	利用者の生活歴を踏まえ、利用者ができるこ とを一緒に行うなど、支え合う関係を築いて いる。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	事前に利用者本人・家族から情報を収集し、一人ひとりの希望や意向の把握に努めている。また、入居後も職員は利用者との関わり合いの中から検討し、その人らしい生活となるよう支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の日々の生活記録を基に職員間で話し合い、介護支援専門員が介護計画を作成している。作成後は家族に説明し、同意を得ている。		
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者の状態に変化があった場合はそのつど話し合い、新たな介護計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の生活状況を家族に手紙等で報告するほか、かかりつけ医への受診や美容室への送迎など柔軟な支援を行っている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者それぞれのかかりつけ医への受診支援を行っている。また、緊急時には担当医や看護師から指示を受けられるよう連携を取っている。		
19	47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化・終末期に向けての方針について事前に家族に希望を聞き、情報を共有している。	○	今後、重度化・終末期に向けての具体的な方針を作成することが期待される。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者の誇りを損ねることのないような声かけや対応を心がけている。また、個人情報の取り扱いに関しては個人名をローマ字で記入するなど、適切に対応している。		
21	52	○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は利用者との会話から希望を汲み取り、その人らしい暮らしとなるよう支援している。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の力量に応じて食事の準備・後片付け等を職員とともにやっている。また、職員も利用者と一緒に食事を楽しんでいる。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の体調を考慮し、一人ひとりの希望に応じた入浴支援を行っている。また、毎日の入浴も可能であり、入浴用の椅子を使用するなど利用者が寛いで入浴できるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	調理・掃除・洗濯物たたみ・カレンダーめくりなど、一人ひとりの力に応じた役割や楽しみごとの支援を行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候や利用者の体調に配慮し、散歩や買い物など日常的に外出できるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室・玄関にセンサーを設置するなど工夫し、日中は施錠せず利用者が自由に出入りできるよう支援している。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	町内会で実施している避難訓練に参加している。また、緊急時に地域から協力が得られるよう働きかけている。	○	今後、消防署や自治会と連携して事業所独自で避難訓練を定期的の実施し、緊急時に対応できるよう備えることが期待される。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量を記録し、職員間で情報を共有している。また、栄養バランスを配慮した献立を作成し、一人ひとりの状態に応じた支援を行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には季節ごとの花を飾ったり装飾品を工夫するなど、季節感を感じられるよう配慮している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者が使い慣れた馴染みの家具や装飾品等が持ち込まれており、本人が安心して過ごせるような工夫をしている。		

 は、重点項目。